

令和6年4月10日

保護者各位

小菅村立小菅小学校  
校長 小山田 拓也

## 学校創立記念日のお知らせ

日に日に春を感じさせる陽気になりましたが、皆様方におかれましては、ますますご健勝のことと思います。

さて、来る4月17日（水）は、小菅小学校の第150回学校創立記念日です。当日は休業日となりますが、150年という歴史と伝統について、ご家庭でも話題にさせていただけると幸いです。

### 【学校のはじまりとうつりかわり】

小菅小学校ができたのは、明治7年（1874年）です。柵原小学校小菅分教場という名で、初めて学校ができました。当時はまだ校舎がなかったため、今の小菅小では民家（今の農協辺り）を使い、白沢分校は薬師寺、長作分校では長谷寺の本堂を使って学びました。そのころは、お坊さんや学問のある人が先生になって教えていました。

その後、学校の名称は、小菅尋常小学校、小菅国民学校など呼び方が変わりました。かやぶき屋根だった校舎も木造校舎に変わり、昭和50年代には鉄筋コンクリートの校舎になりました。

また、昭和50年3月には、小菅小学校の校歌がつくられました。小菅村の自然や風土が織り込まれた校歌は、いろいろな行事の中で歌われ、大変親しまれています。平成28年度には、全校児童と教職員で、「こすげしょうの歌」を作成し、丹菅音楽祭などで元気な歌声を披露しました。

小菅小学校の児童は、一番多い時期には、437名が通っていました。その後、給食センター、プール、スケート場、パソコン室等の施設が整備され、快適な教育環境が整えられました。

平成18年度には、校舎改造工事及び耐震工事が行われ、現在に至っています。

